定 例 会 議 の 開 催 状 況

1　日　時　令和８年５月13日（水）午後１時35分～午後５時00分

2　出席者　櫻井委員長、和田委員、逸見委員、山田委員、斎藤委員
本部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、情報通信部長、警察学校長、首席監察官、組織犯罪対策本部長
説明補助者
総務課長、公安委員会事務室長、けいさつ相談室長、警務課長、捜査第三課長、特殊詐欺特別捜査室長、交通企画課長、交通聴聞官、運転免許センターセンター長補佐

3　議題事項

(1) 警察署協議会委員の委嘱承認等について

総務課長から、「令和８年４月１日付け新潟中央警察署の開署に伴う同署協議会委員の新規委嘱及びその他警察署協議会委員からの辞職の申出に伴う補欠委員の委嘱について承認していただきたい。」旨の説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

(2) 自動車運転代行業の営業停止命令について（２件）

交通企画課長から、「自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律違反により、政令で定める「営業の停止の基準」に該当した運転代行業者２者に対する所要の手続が完了したことから、営業停止命令の行政処分２件を決定したい。」旨の説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

(3) 運転免許関係の意見聴取等について

交通聴聞官から、運転免許取消対象事案20件について、事案内容及び意見聴取等結果の説明があり、審議の結果、取消し20件の行政処分を決定した。

4　報告事項

(1) 警察あて苦情の受理及び処理状況について（令和８年３月末現在）

けいさつ相談室長から、令和７年及び令和８年３月末現在までの警察あて苦情の受理及び処理状況について報告があった。

(2) 「新潟県警察の将来展望」アンケートの実施結果について

警務課長から、「警視及び同相当職以上の職員に対し、今後の県警察を改革、改善するため「新潟県警察の将来展望」についてアンケートを実施した。アンケートの結果をもとに、様々なアイディアや意見を参考に施策を推進していきたい。」旨の報告があった。

委員から、「アンケートは細部にわたってしっかりと取りまとめられている。

回答には形容詞的表現や感情を表す語も含まれていると思うが、例えばＡＩテキストマイニング等の技術を活用すれば、頻出語が大きく色分けをして表示され、単なる動詞や名詞だけでなく、形容詞や副詞の出現頻度も視覚的に把握でき、分析を多角的に深化させることが可能ではないか。現在抱えている課題や将来への期待を整理する手段として、心情の部分が切り捨てられることのないよう、解析手法と分析の進め方を慎重に検討していただきたい。」旨の発言があった。

委員から、「今回のアンケートは、県警察の危機意識が高まっていることを示す良い材料である。この結果を具体的にどう具現化するかが重要であるが、次のステップとして、今後どのように展開していくのか伺いたい。」旨の発言があり、警務課長から、「今後の展開としては、警察組織の構造改革と優秀な人材の確保が喫緊の課題であり、新たな取組や組織の見直しが必須となることから、このたびの結果を改革のヒントとして今後の見直しに活かしてまいりたい。」旨の発言があった。

委員から、「アンケートの結果を共有することが大切である。共有の中から新たな発想が生まれ、継続的な改善策の検討が期待できる。また、具体策を実行に移すか否かが鍵となるので、しっかり取り組んでいただきたい。」旨の発言があった。

委員から、「アンケートで吸い上げた意見が実際の施策に結びつかないと、回答者は徒労感を抱く恐れがある。一つでも実現可能な施策を見付け、実行していただきたい。」旨の発言があった。

(3) 公安委員会宛て苦情申出の受理について

公安委員会事務室長から、公安委員会宛てに届いた警察職員の職務執行に関する苦情申出について報告があった。

(4) 窃盗事件の検挙について

捜査第三課長から、窃盗事件の検挙について報告があった。

(5) 特殊詐欺事件（受け子）の検挙について

特殊詐欺特別捜査室長から、特殊詐欺事件（受け子）の検挙について報告があった。

委員から、「特殊詐欺については、金融機関側に対しても注意喚起をしていく必要がある。」旨の発言があり、特殊詐欺特別捜査室長から、「金融機関との連携により検挙に繋がっている事例も増えていることから、引き続き注意喚起に努めてまいりたい。」旨の発言があった。

(6) 令和８年４月末現在の交通事故発生概況について

交通部長から、令和８年４月末現在の交通事故発生概況について、資料に基づき報告があった。

(7) 福島県内における人身事故当事者への対応状況について

交通企画課長から、福島県内における人身事故当事者への対応状況について報告があった。

(8) 令和８年１月から３月までの公安条例許可状況について

警備部長から、令和８年１月から３月までの公安条例許可状況について、資料に基づき報告があった。

５　その他

本部長から、「自転車の交通違反に対する交通反則通告制度の適用について、制度の定着により事故防止が図られるよう引き続き周知に努めてまいりたい。」旨の発言があった。